

第2次総合計画 平成29年度 施策・事業 実績シート

理念	基本目標	基本施策	
安心	安心して暮らす	1. 安心して子どもを育てる	P1
		2. 安心して働ける	P3
		3. 健康を維持・増進する	P5
		4. 日々の暮らしを守る	P7
	生命と財産を守る	5. 医療と救急を充実する	P9
		6. 犯罪や事故を防ぐ	P11
		7. 災害から身を守る	P13
快適	まちの魅力を高める	8. 自然を守り、活かす	P15
		9. 魅力あるまち並みを創る	P17
		10. 歴史・文化を活かす	P19
	便利に暮らす	11. 戦略的に道路をつくる	P21
		12. 移動手段を充実する	P23
		13. 便利な消費生活を送る	P25
		14. 暮らしやすさを保つ	P27
活力	いきいきと暮らす	15. 学ぶ力をつける	P29
		16. 共に生きる力をつける	P31
		17. 生きがいを持って暮らす	P33
	みんなでまちをつくる	18. まちの担い手になる	P35
		19. 地域自治力を高める	P37
		20. さまざまな担い手がつながる	P39
	まちを元気にする	21. 産業を育成・支援する	P41
		22. 交流と連携で元気になる	P43
		23. 持続可能型の社会をつくる	P45
市政の運営		24. 市民サービスが向上する	P47

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	1 安心して子どもを育てる		
目指す方向	子どもを安心して産み育て、家族が健やかに成長することができる地域での子育て環境づくりを目指します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①出生数(単位:人)	目標		354	361	368	375	381	416
	結果	378	290	297				
②合計特殊出生率(単位:-)	目標		1.64	1.68	1.72	1.76	1.80	2.00
	結果	1.64	1.52	1.39				
③子育て環境が良いと感じている子育て中の市民(単位:%)	目標		37.0	39.0	41.0	43.0	45.0	50.0
	結果	36.2	33.4	24.6				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない包括的な支援体制を構築します
・放課後の子どもの居場所を確保し、働きながら安心して子育てできる環境をつくれます
・誰もが必要な教育を受けることができる体制を構築します
・安心して学校へ通うことができる仕組みを構築します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	子ども等福祉医療費助成事業	574,829	③	福祉医療受給対象者へ医療費の助成を行った。 ・重度心身障害者医療2,757人(延べ77,550件、351,968千円) ・子ども医療5,961人(延べ85,247件、166,630千円) ・母子医療923人(11,508件、27,695千円) ・父子医療57人(456件、1,007千円) ・養育医療給付実績対象者16人(延べ35件、2,780千円)
2	ファミリーサポートセンター事業	5,482	③	会員制による子どもの一時預かりや送迎などのサポートを行い、働く親の支援活動、地域での子育て支援環境づくり、育児支援体制の強化を図った。年間延べ804件の援助活動を実施し、平成29年度末の会員数は依頼会員626人、援助会員158人、両方会員72人の合計856人であった。また、平成29年度から、利用者の経済負担軽減を図るため利用料の減額を実施し、併せて援助会員へファミリー・サポート・センター相互援助活動補助金を交付して、援助会員確保に努めた。
3	こども発達センター事業	12,603	③	こども発達センター(にじの家、おひさま)を、恵那市社会福祉協議会への指定管理にて運営し、言葉や心身等の発達に不安が見られ、本来の能力が十分に発揮できない子どもに対して、療育指導を行った。年間の延べ利用人数は6,932人であった。
4	放課後児童対策事業	125,212	③	放課後児童クラブ(通年型15クラブ、季節型1クラブ)を委託により運営し、平均利用児童数(※)換算で、計448人の居場所を確保した。また、武並小学校区、上矢作小学校区クラブを学校内に移転し、校内実施クラブを8クラブとした。 (※)平均利用児童数とは「延べ利用人数÷開所日数(季節型は、さらに÷6(2ヶ月/12ヶ月))」で算出した指標

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
5	子ども・子育て支援事業	11,354	③	子ども・子育て会議を3回開催し、子ども・子育て支援事業計画(H27～H31)の中間年見直しと、次世代育成支援行動計画(H28～H31)の進行管理を行った。また、切れ目ない子育て支援施策の周知を図るために、リーフレット「ひとねるサポート」を作成し、子育て世代へのPRを行った。平成29年5月には恵那市病児保育所を開所し、年間で延べ124件の利用があった。
6	児童家庭支援事業	11,975	③	ひとり親世帯の指導及び助言(延べ157件)により、社会参加への支援を行った。また、児童虐待、養育不安、DVなど、家庭のさまざまな問題に対し、指導・助言などの支援(延べ439件)を行うとともに、要保護児童・DV防止対策地域協議会を開催し、各機関との連携を図った。
7	子育て支援センター事業	24,644	③	子育て支援の拠点施設(こども元気プラザ、地域子育て支援センター等(※))で、未就園児の親子を対象とした子育てに関する講習・相談・情報提供などを行い、親子の交流の場の提供と交流促進を行った。また、市民団体が運営する、つどいの広場(岩村町)に対して運営補助を行った。 ※地域子育て支援センター等実施場所 地域子育て支援センター:やまびこ・武並・中野方・岩村・山岡・明智・上矢作こども園 出張子育て支援センター:みさと・串原・旧吉田こども園 【平成29年度利用状況】 ・こども元気プラザ 開館294日 延べ利用人数17,753人 ・地域子育て支援センター等 開催485回 延べ利用人数7,009人 ・つどいの広場(岩村町) 開催142回 延べ利用人数2,557人
8	障がい児通所支援給付事業	118,371	③	言葉や心身等の発達に不安が見られ、本来の能力が十分に発揮できない子どもに対し、一人ひとりに応じた支援計画作成と療育指導を進めるため、事業所・利用者に対する給付支援を行った。 ・児童発達支援給付費 延べ1,654件 ・放課後等デイサービス給付費 延べ1,215件 ・障害児相談支援給付費 延べ688件 ・利用者負担額軽減費 延べ2,562件
9	こども園管理運営事業	1,065,893	③	制度導入3年目のこども園(15園)では、発達や学びの連続性を確保し、園児一人一人の発達に応じて「生きる力」の基礎となる心情、意欲、態度など総合的に育むことを目的に恵那市幼児教育の共通の取り組みとして4本の柱(あいさつ、読書活動、英語遊び、特色ある園活動)を掲げて教育・保育を実施した。
10	こども園建設事業	578,636	③	平成29年度は、新こども園の名称を「おさしま二葉こども園」とし、園舎建設工事に着手した。 ・木造平屋建て(一部2階建て)、延床面積2,269㎡、入所定員240人
11	教育・保育施設支援事業 地域型保育支援事業	209,531	③	私立保育所2園と保育の実施に関する委託契約を締結し、園の運営費として国の基準により算出した委託料を支払った。認可外保育所1ヶ所に施設補助金及び利用者補助金を助成して支援を行った。私立保育所の建設に補助を行い、開園した認可保育所1ヶ所に運営費の交付を行った。保護者の利便性を図るため、市外私立保育所等(7園)への広域入所を実施した。
12	母子保健事業	3,980	③	妊娠から乳幼児期までの健やかな成長、発育発達および育児を支援するために、健診(乳幼児期)・相談・教室・訪問指導等を実施した。 ・4か月児健診(24回 292人) ・1歳6か月児健診(18回 291人) ・3歳児健診(18回 333人) ・遊びの教室(7回 32人) ・母子手帳交付(153回 307人) ・たまご学級(18回 113人) ・たまごパパママ教室(6回 146人) ・なんでも相談(36回 462人) ・運動発達相談(12回 128人) ・7ヶ月相談(18回 269人) ・1歳児教室(18回 274人) ・2歳児教室(18回 339人) ・乳幼児・妊産婦訪問(707人)
13	妊娠・出産支援事業	41,928	①②	安心して子どもを産むことができるように、妊婦健診に係る費用の助成とサポートの助言等を行った。また、一般不妊治療及び特定不妊治療の助成を行った。産後の支援として宿泊型、デイケア型の育児支援を行った。
14	私立幼稚園支援事業	26,399	③	私立幼稚園授業料について、公立こども園等との格差是正を目的に就園奨励費補助金を助成した。
15	産婦人科推進事業 【病院事業会計】	110,000	①②	市立恵那病院運営交付金 ・周産期医療に要する経費に関する交付金 ・産婦人科医療確保事業の経費に関する交付金

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	2 安心して働ける		
目指す方向	市内や通勤可能な地域において魅力ある雇用の場を創出するとともに、仕事と生活の調和が配慮された安心して働くことができる環境をつくります。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①一般(フルタイム)年間平均有効求人倍率(単位:-)	目標		1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
	結果	1.01	1.14	1.33				
②働く環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		49.0	49.5	50.0	50.5	51.0	55.0
	結果	48.6	48.4	42.9				
③子育て支援企業の登録企業数(単位:事業所数)	目標		40	50	60	70	75	100
	結果	31	74	78				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・市民の生活の安定を目指し、起業の支援や、非正規雇用から正規雇用への転換を促進します
・求職ニーズと求人ニーズのかい離の縮小を目指します
・働きたい人が働ける社会を築けるように就労環境の改善を図ります
・働き続けることができる環境づくりを促進します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	労働対策事業	54,620	②③	恵那市の産業基盤を支える労働者の福利厚生、生活安定の向上を目的として安心して働ける環境づくりを促進した。
2	企業誘致推進事業	123,281	①②	雇用機会の増大と企業の適正配置を図るため、新たな企業の誘致と既存企業の育成に努めた。企業等立地促進条例に基づき、13社へ奨励金を交付した。新たな働き方の創出のため、恵那駅前の空き店舗を体験サテライトオフィスとしてリニューアルスタートさせた。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	3 健康を維持・増進する		
目指す方向	一人ひとりが健康についての意識を高めて、できるだけ元気に長寿社会を楽しむことができるよう、地域と連携して健康寿命の延伸を推進します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①男平均健康寿命(単位:歳)	目標		70.80	70.90	71.20	71.50	71.80	73.00
	結果	70.72	71.56	71.70				
①女平均健康寿命(単位:歳)	目標		74.30	74.40	74.60	74.80	75.00	76.00
	結果	74.18	76.38	76.45				
②介護保険給付費(単位:百万円)	目標		5,438	5,602	5,586	5,561	5,602	5,811
	結果	5,132	5,132	5,111				
③第1号被保険者(65歳以上)の介護認定率(単位:%)	目標		17.2	17.5	17.7	17.8	18.0	18.5
	結果	17.1	16.8	16.9				
④第2号被保険者(40歳～64歳)の介護認定率(単位:%)	目標		0.34	0.34	0.33	0.33	0.32	0.30
	結果	0.33	0.32	0.32				

課題解決のための施策

・市民の健康意識を高めるとともに、社会保障費への関心を高めます
・生活習慣病患者の増加を防ぎます
・健康維持・増進に取り組める環境を整備します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	山岡健康増進センター管理運営事業	24,299	①②③④	住民の健康増進を目的とした、快適な施設運営を行った。 ・利用実績 26,089人
2	歯科保健推進事業	4,191	②③④	各種歯科保健事業を通じて、歯科口腔の健康づくりを推進した。 ・歯みがき教室(71回 514人) ・こども園、幼稚園歯科衛生巡回指導(102回 3,298人) ・巡回歯科保健サービス(37回 398人)
3	がん検診事業	22,408	①②③④	がんの早期発見、早期治療のため各種検診を行った。 ・胃、肺、大腸、前立腺、乳、子宮頸がん検診(延べ6,058人)
4	健幸まちづくり事業	6,592	①②③④	健康寿命の延伸をテーマに、健康づくりへの関心を持っていただき、生活習慣へ繋がるきっかけ作りとなることを目的とした事業を行った。 ・2017健幸フェスタinえな(参加延べ人数 8,000人) ・エーナ料理教室(8回)(参加者数 196人) ・エーナ健幸ポイント(応募総数 889件) ・エーナ健幸レシコンテスト(応募件数 106件)

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
5	保健推進事業	5,436	①②③④	生活習慣病予防のための各種健診、健康教育、健康相談を行った。また特定健診要指導者の方に必要な保健指導を行い、生活習慣改善に向けての活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・若いひと、基本健診 222人(若いひと221人、基本1人) ・肝炎ウイルス検診 112人 ・骨密度検診 471人 ・歯周疾患検診 197人
6	特定健康診査等事業 【国民健康保険事業特別会計】	41,647	①②③④	生活習慣病の疾病予防のため、40歳から74歳までの被保険者に特定健診及び特定保健指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数3,773人、受診率44.4%

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	安心して暮らす
基本施策	4 日々の暮らしを守る		
目指す方向	誰もができるだけ自立して暮らすことができ、社会の中でも役割を担い、いきいきと活動することができる、誰もが出番のある社会を目指します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①日々の生活に不安を感じている市民(単位:%)	目標		57.0	57.0	57.0	57.0	57.0	57.0
	結果	57.3	66.8	66.5				
②日常生活で困った時に相談先がある市民(単位:%)	目標		87.5	88.0	88.5	89.0	90.0	95.0
	結果	87.3	94.5	95.3				
③近所の人と話す機会がある高齢者(単位:%)	目標		72.0	73.0	74.0	75.0	76.0	80.0
	結果	71.6	61.4	65.2				
④障がいのある人への理解度(単位:%)	目標		86.8	87.0	87.5	88.0	88.5	90.0
	結果	86.6	78.6	76.2				
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・生活の基盤となる医療や住まいを保障し、誰もが安心して生活できる社会を実現します
・要介護高齢者の増加に対応し、行政と地域が連携したケア体制を構築します
・障がいのある方が理解され、地域社会で共生できる社会を構築します
・充実した福祉サービスの提供を図るための人材確保につとめます
・地域コミュニティの再生を図り、相互扶助機能の向上を目指します
・生活困窮者や就労困難者への積極的な支援を推進します
・高齢者に活躍の場を確保し、高齢者の生きがいづくりを進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	地域福祉推進事業	54,509	①④	地域福祉活動の推進と社会福祉協議会の活動支援を行った。
2	障がい者地域生活支援事業	72,822	①④	障がいのある方々が、自立した生活を営むことができるよう各種事業による支援を行った。
3	高齢者活躍支援事業	26,850	①②③	<p>【シルバー人材センター運営事業支援】 高齢者が培った豊かな知識や技術、経験を基に、生きがいを持って働く場を提供するシルバー人材センターの円滑な運営を図るため、運営事業の支援を行った。(会員数640人、受注件数4,317件)</p> <p>【壮健クラブ活動支援事業】 高齢者の健康増進、地域貢献、相互の親睦等の活動を行う壮健クラブに対し、事業の活動支援を行った。(会員数7,099人)</p> <p>【シルバー生きがい創生事業】 地域における高齢者の就労促進に資する事業の展開に向け、シニア世代の就労に関する意識を把握するため、アンケート調査を行った。</p>

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
4	高齢者等生活支援事業	17,788	①	敬老事業は、80歳以上の高齢者を助成対象者として、市内各自治会及び高齢者福祉施設等において長寿を祝う催しを行った。また、99歳以上の高齢者に敬老賞賜金を贈呈した。ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、寝具消毒乾燥事業や訪問理美容を実施し、高齢者の生活の質の向上及び負担軽減を図った。成年後見制度の利用について支援を行うため、中津川市と共同で東濃成年後見センターへ事業を委託し、制度の利用支援と周知を図った。
5	認知症予防事業	4,440	①②③	回想法を活用することにより、高齢者の社会参加の促進を図り、生きがいづくりや地域交流の場を提供した。
6	介護保険介護給付事業 【介護保険特別会計】	5,110,553	①	介護サービス等経費、介護予防サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、特定入所者介護サービス等費、その他諸費
7	高齢者地域支援事業 【介護保険特別会計】	207,086	①②③	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活が続けられるようにするため、地域全体で高齢者を支えとともに、高齢者自身も地域や社会活動に参加し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めた。 ※介護予防・日常生活支援総合事業、地域包括支援センター事業、包括的支援事業、任意事業
8	生活困窮者自立支援事業	22,427	①	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し支援を行った。
9	市営住宅維持管理事業	70,423	①	低所得者層へ低廉な家賃で住宅を供給するための住宅保全、維持管理、住環境整備等を行った。
10	雇用促進駐車場管理事業	100	①	山岡雇用促進住宅駐車場の管理運営を行った。 ・駐車場区画 120台

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
基本施策	5 医療と救急を充実する		
目指す方向	病院や診療所との連携など、地域の医療体制を充実するとともに、急病やけがなどから命を救うことができる救急体制の充実を目指します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①かかりつけ医のいる市民 (単位:%)	目標		55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	65.0
	結果	54.1	59.8	60.1				
②医療環境に不満を感じ ていない市民(単位:%)	目標		55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	60.0
	結果	55.0	61.1	60.1				
③患者医療機関収容時間 (単位:分)	目標		41.5	41.0	40.5	40.0	39.5	39.0
	結果	42.0	42.8	42.1				
④応急手当資格者数(実) (単位:人)	目標		3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	5,000
	結果	2,900	3,041	2,928				
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・病院・診療所などについて、更新などの費用負担に対応した効率的な運営を図ります
・市民ニーズに対応するための医療環境を整備します
・通院のための移動サービスの充実を図ります
・救急ニーズへの対応を図るとともに、適正な救急医療の受診を促進します

基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	診療所事業(一般会計負担分)	196,387	①②	診療所の経営に対する一般会計からの繰出金 国民健康保険診療所事業会計 6診療所分(三郷・飯地・岩村・山岡・串原・上矢作歯科)
2	病院事業(一般会計負担分)	991,916	②	病院の経営に対する一般会計からの繰出金 病院事業会計 市立恵那病院・国民健康保険上矢作病院分
3	地域医療確保対策事業	44,003	①②	初期救急医療体制として、恵中医会・恵南医会に依頼した在宅当番医制の定着化により、休日及び夜間における地域住民・救急患者の医療の確保を図った。
4	救急活動事業	6,547	②③	救急活動を安全、迅速、確実に遂行するための資器材整備、機械器具の保守点検及び、救命率向上を目標とした救急隊員、救急救命士の各種研修の派遣に努めた。 ・救急出場状況 出場件数2,457件 火災12、交通事故177、労災16、運動競技6 一般負傷398、加害1、自損行為25、急病1,481 転院搬送324、その他17

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
5	応急手当普及啓発事業	1,219	④	公共施設の屋外2ヶ所にAEDを設置し、24時間使用可能とした。 また、市民の救命率向上を目的に、AED講習をはじめとする応急手当普及啓発を行った。 ・応急手当普及啓発 講習回数101回 受講者数2,954人
6	救急施設整備事業	27,707	②③	高度救命処置に必要な高規格救急車1台(上矢作分署)、資器材の整備を実施し、救命率向上に寄与した。
7	市立恵那病院医療機器等導入・更新事業 【病院事業会計】	49,550	②	超音波画像診断装置等の導入、除細動器・眼科等医療機器の更新を行い、医療向上を図った。
8	国保上矢作病院医療機器等更新事業 【病院事業会計】	45,985	②	自動分析装置、錠剤分包機等の更新を行い、医療の向上を図った。
9	病院施設整備更新事業 【病院事業会計】	23,752	②	市立恵那病院、国保上矢作病院の施設維持に係る経費
10	国保診療所医療機器等更新事業 【国保診療所事業会計】	5,010	②	心電図検査装置(飯地)、オージオメータ(岩村)などの医療機器等を更新し、医療の向上を図った。
11	国保診療所施設整備更新事業 【国保診療所事業会計】	8,204	②	国保診療所施設維持に係る経費
12	市立恵那病院運営事業 【病院事業会計】	3,066,624	②	市立恵那病院の運営に係る経費
13	国保上矢作病院運営事業 【病院事業会計】	935,828	②	国保上矢作病院の運営に係る経費
14	国保診療所運営事業 【国保診療所事業会計】	614,077	②	市内6診療所の運営に係る経費
15	市立恵那病院再整備事業 【病院事業会計】	259,540	②	市立恵那病院際整備に係る経費 旧病院解体工事 造成・駐車場整備工事 設計業務委託等
16	消防署所適正配置検討事業	—	—	恵那市の救急体制について、市民を含んだ救急体制検討委員会を立ち上げ検討を行った。検討の結果、笠周地区が他の地区に比べ救急体制が不十分であり、救急拠点施設が必要との結果から、拠点施設を現場到着時間、財政負担の軽減等を考慮し、中野方コミュニティセンターに救急隊員(救急車)を配置し、平日昼間の救急体制の充実を図ることとした。 【平成30年度新規事業 予算額35,355千円】 ・救急分遣所整備事業 (平成30年4月～業務開始 救急隊員3名体制) 救急車配置 救急資器材配備 指令系設備配置 デジタル無線設備配置 救急車車庫建設

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
基本施策	6 犯罪や事故を防ぐ		
目指す方向	防犯・交通安全意識を高め、関係機関と地域が一体となって、防犯・交通安全環境の充実を目指します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①人身交通事故発生件数 (単位:件)	目標		150	145	140	135	130	110
	結果	157	135	112				
②治安が悪いと感じている 市民(単位:%)	目標		16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	結果	16.1	18.2	18.9				
③犯罪率(人口1,000人当 たりの刑法犯認知件数) (単位:件/千人)	目標		6.4	6.3	6.2	6.1	6.0	5.5
	結果	6.8	4.4	3.9				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・高度化する犯罪への注意喚起を行います
・交通事故の発生を抑制します
・地域での防犯や交通安全への取り組みを支援します

基本事業の実績

事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
交通安全まちづくり事業	5,359	①	市民と一体となって交通事故防止と交通安全思想の普及徹底を図るため、春・夏・秋・年末の交通安全運動期間中に市民総ぐるみ街頭指導、巡回広報活動を実施した。また、年間を通じて交通指導員による交通安全教室を75回実施した。(内訳:こども園・幼稚園保育園45回、小学校14回、中学校5回、高齢者6回、その他5回)
交通安全対策施設整備事業	11,906	①	交通安全施設を整備し、道路の安全性を高めることに努めた。 ・カーブミラー、ガードレール、標識等の設置 ・カーブミラー、立て看板等の支給 ・カーブミラー、標識、反射鏡等の修繕、取替え
防犯まちづくり事業	3,078	②③	市民の安心・安全を確保し、地域防犯活動を推進するため、防犯団体への活動支援と防犯カメラの設置助成を行った。 ・防犯設備整備費助成(防犯カメラ設置 1自治会)

事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

施策・事業 実績シート

理念	安心	基本目標	生命と財産を守る
基本施策	7 災害から身を守る		
目指す方向	地震や風水害、土砂災害、火災などのさまざまな災害から命を守り、できるだけ被害を少なくするように地域や家庭における備えを充実します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地区防災計画の取組(単位:-)	目標		地域自治区単位での実践率80%	地域自治区単位での実践率100%	地域の区単位での計画策定	地域の区単位での実践率80%	地域の区単位での実践率100%	単位自治会での実践率100%
	結果	地域自治区単位での計画策定	地域自治区単位での実践率100%	地域自治区単位での実践率100%				
②緊急避難場所を知っている市民(単位:%)	目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	89.0
	結果	77.7	83.1	79.0				
③防災に対する備えに不安がある市民(単位:%)	目標		49.0	48.0	47.0	46.0	45.0	40.0
	結果	50.0	62.7	58.0				
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・地域、企業、各種団体などのさまざまな力を結集し、災害対応に向けた共助力の向上を図ります
・市民全体で自助の精神を持てるよう啓発を行い、災害を最小限に食い止めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	防災推進事業	26,815	③	安心・安全なまちづくりを目指し、各種災害から市民の生命・財産を守るため、防災体制と災害対応能力の向上を図った。また、防災行政無線設備の保守点検を行い、適切な維持管理に努めるとともに、防災行政無線を運用した気象情報と避難情報等の適時適切な伝達に努めた。
2	地域防災力向上事業	7,085	①②③	地域防災力の向上を目標に、防災アカデミーを開催し、防災知識の普及啓発と防災士資格の取得支援を行った。(52人受講、45人取得)また、市防災備蓄倉庫の拡充(恵那市福祉センター、明智文化センター)と地域防災資機材の充実(武並町、三郷町、明智町)を図った。
3	建築物耐震促進事業	10,669	③	木造住宅等の耐震促進事業等を行った。 ・木造住宅耐震診断(18件) ・木造住宅耐震補強工事費補助(7件) ・建築物耐震診断費補助(1件)
4	空家解消対策事業	104	③	適切な管理が行われていない空家等の対策を実施するために特定空家等審査会を開催した。
5	防火まちづくり推進事業	1,975	③	女性防火クラブ、少年消防隊に対し防災教育を実施し、防火防災意識の高揚を確立した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
6	非常備消防一般運営事業	111,355	③	各種災害、行方不明者捜索等への出動はもとより、消防団員の資質及び現場対応能力向上のため、消防学校派遣、消防操法訓練実施、防災訓練参加、出初式等を実施した。基本団員1,071人機能別団員153人
7	非常備消防管理事業	12,064	③	消防団拠点施設及び消防車両の維持管理に努め、消防団員が活動しやすい環境整備と安全対策を実施した。 ・消防コミュニティ(器具庫含む) 63棟 ・消防団車両(ポンプ車、積載車等) 90台
8	非常備消防施設整備事業	30,626	③	消防団施設の統廃合により拠点施設の効率化を実施し、地域消防力の充実強化を図った。 ・土地購入及び造成 1件 ・器具庫改修 1件 ・器具庫解体 5ヶ所
9	消防水利整備事業	7,385	③	消火栓の設置及び維持管理を行い、消防水利充足率の向上に務めた。また、消火栓放水器具の設置事業を進め、市民が利用できる消火栓数を増やした。新設消火栓4基、消火栓放水器具整備(新設10ヶ所、更新20ヶ所)
10	常備消防施設整備事業	65,159	③	消防車両、庁舎、機器及び消防救急デジタル無線設備の修繕を実施した。各種資器材の補充と整備により、消防活動の安全対策及び迅速性の向上を図った。
11	急傾斜地崩壊対策事業	1,938	③	斜面の崩壊による被害から、要配慮施設や住家などを保全するため、区域指定及び用地の購入等を実施した。 ・武並町竹折中切地区

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
基本施策	8 自然を守り、活かす		
目指す方向	豊かな自然との調和を目指し、山林や里山、河川などの自然環境を長期的な視野で保全するとともに、皆が親しめる場としての活用を図ります。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①恵那市の自然に愛着を持っている市民(単位:%)	目標		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	結果	67.6	70.1	55.4				
②景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	目標		0	1	1	2	2	5
	結果	0	0	0				
③自然環境を保全し、活用する団体数(単位:組織数)	目標		11	12	12	13	13	15
	結果	11	11	11				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・自然環境や農地の保全活動を推進します
・魅力ある自然環境空間づくりを進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	森林保全促進事業	78,277	①②③	<p>森林の多面的機能維持と災害防止のため、市有林間伐を行った。また、民有林への間伐補助や新規の作業道整備への補助を行い、間伐推進を行った。森林の大切さを伝えるための講座や森林資源の利用推進のため木工コンテストを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有林間伐(73.20ha) ・美しい森林づくり基盤整備事業(18.88ha) ・間伐実施事業(257.02ha) ・間伐材利用促進事業(6,539m³) ・森林作業路開設事業(7件 1,550m) ・森林整備地域活動事業(464.51ha) ・自伐林家型地域森林整備事業(5.17ha)

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
基本施策	9 魅力あるまち並みを創る		
目指す方向	魅力を活かしたまち並み(景観)形成を進めるとともに、快適に暮らすことができる計画的な土地利用を進めます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①恵那市のまち並み景観が良いと感じている市民(単位:%)	目標		33.0	34.0	36.0	38.0	40.0	50.0
	結果	32.4	31.4	24.7				
②景観形成重点地区の指定数(単位:箇所)	目標		0	1	1	2	2	5
	結果	0	0	0				
③計画的土地利用整備済み箇所数(単位:箇所)	目標		4	4	4	4	5	8
	結果	4	4	4				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・計画的な地域整備を推進します
・良好な景観とまち並みを市民と共に形成していきます
・安心安全な憩いの空間を創造します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
6	地籍調査事業	100,010	③	調査実施地区は、新規1地区、継続10地区(うち調査完了地区は武並町広久手地区、飯地町西山1地区)の換算面積で3.01km ² の調査を実施した。要調査面積452.59km ² に対して、調査済面積(換算面積)は201.49km ² (進捗率44.5%)
1	都市計画推進事業	2,543	③	恵那市都市計画マスタープランの見直し(変更)を完了した。
2	景観形成事業	6,018	①②	恵那市景観審議会を開催及び屋外広告物管理システムを導入による事務の効率化、景観形成の向上に努めた。
3	土地区画整理事業	52,951	③	組合施行の正家第二土地区画整理事業A=12.8ha(H28年度～H32年度)の実施に合わせ、都市計画道路2路線道路整備の工事着手に至った。
4	武並駅周辺整備計画策定事業	0	①③	駅周辺整備計画策定に向け、地元協議を開始した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
5	憩いの空間維持・整備事業	21,048	①③	市民の身近な憩いの場として利用されている中央公園、中野公園、うとう公園、ほりた公園、まきもと公園、マロニエ公園、学頭公園、神田公園、大崎公園、阿木川公園、ふれあいひろば及び中山道大井宿広場の維持管理について(一財)施設管理公社へ委託し、管理業務を実施した。恵那駅前広場の芝刈り、サニーハイツの草刈り及び植栽管理をシルバー人材センターへ委託し、管理業務を実施した。
6	リニアまちづくり事業 【再掲 22交流と連携で元気になる】	3,733	①③	リニア中央新幹線建設の促進と沿線地区の基盤整備計画の検討を行った。また、講演会を開催し、リニアを生かしたまちづくりを啓発した。

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	まちの魅力を高める
基本施策	10 歴史・文化を活かす		
目指す方向	文化財、伝統芸能、祭りなどの歴史・文化を保全・継承しつつ、まちづくりに活かし、地域への誇りと愛着を醸成します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①居住地域の文化や風習を、生活の中で感じている市民(単位:%)	目標		65.0	68.0	71.0	74.0	77.0	80.0
	結果	62.2	67.1	65.2				
②地域の祭りなどに参加した市民(単位:%)	目標		68.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	結果	66.3	68.6	67.6				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・ふるさとの歴史・文化について理解を深める活動を推進します
・郷土愛を育むまちづくりを推進します
・文化財、伝統文化の保全・継承に向けた地域づくりを進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	歴史まちづくり事業	19,272	①	歴史的風致維持向上計画を推進するため中山道宿場町大井地区都市再生整備計画(H26年度～H30年度)に基づき、事業を推進した。
2	伝統芸能保存伝承事業	6,996	①②	伝統芸能大会開催費用の負担、伝統保存文化育成事業への助成を行い、芸術文化の振興と伝統芸能の保存伝承の支援を図った。 ・いわむら城址薪能実行委員会活動事業 ・文化振興会伝統保存文化育成事業 ・第28回恵那市伝統芸能大会事業
3	文化財の調査・保存・活用事業	60,764	①	国選定の貴重な文化財である岩村町本通り伝統的建造物群保存地区の保存事業を実施し、歴史学習や観光地としての視察・研修を受け入れ、有効活用を行った。また、地区内の伝統的建造物の修理・修景工事に対する補助を行った。指定文化財の定期的な巡視を行い、保存・修繕による管理活用に努めた。市内の遺跡分布調査、大船神社参道の松並木の松くい虫駆除、並びに指定管理施設の管理業務等を行った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
4	美術館管理運営事業	52,038	①	<p>公益財団法人中山道広重美術館に中山道広重美術館の指定管理委託を行い適正な管理運営に努めた。浮世絵を中心とした特別企画展3回、企画展を5回開催した。この他に講座の開講や子ども版画コンクールなどの教育普及事業も実施した。スポンサー制度を導入し、地元企業の負担によるフリーフライデーとして毎週金曜日の観覧料を無料とした。</p> <p>・観覧者数 延べ20,076人 前年度比4,513人増</p>

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	11 戦略的に道路をつくる		
目指す方向	リニア中央新幹線を活かした道路、経済基盤や観光機能を強化する道路、住宅整備のための道路など、明確な目的を持ち、戦略的に道路整備を進めます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①道路整備計画(仮)の進捗状況(単位:-)	目標		策定	→	→	→	→	→
	結果		策定	別途進行管理				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・明確な目的を持った、戦略的な道路整備を進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	国県道事業等負担金負担事業	23,493	①	県事業に対する負担を負うことにより、広域交通の円滑化を図った。 ・国道418号 ・主要地方道(豊田明智線、瑞浪上矢作線、恵那蛭川東白川線) ・一般県道(恵那八百津線、大湫恵那線、中野方七宗線他) ・急傾斜(横吹2、八重洞)
2	主要市道整備事業	86,256	①	主要市道の整備により、交通の利便性の向上、経済基盤と住環境の強靱化を図った。 ・(新こども園関連道路) 大洞亜炭道路線、長島町184号線 ・(過疎自立支援計画) 大竹松本線、上矢作町13号線 ・(笠周地域振興計画) 飯地中野方線、寺田石山線他

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	12 移動手段を充実する		
目指す方向	公共交通をはじめとする各種移動手段について、総合的な利便性の向上を図ります。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地域内有償運送※がカバーしている地域(単位:地域)	目標		1	2	5	5	5	10
	結果	0	1	1				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・持続可能な移動手段や、交通弱者が利用しやすい移動環境を整備します
・多様な移動手段を連携させます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	基幹交通対策事業	261,818	①	地域住民や観光客にとって便利で快適な移動手段を確保するため、明知鉄道を中心とした鉄道やバスなどの総合的な公共交通ネットワーク構築に努めると共に、廃止代替バスとして自主運行バス22路線79系統に対する補助を行った。 ・鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 ・鉄道施設老朽化対策事業 ・鉄道施設維持修繕事業 ・地方鉄道利用促進対策事業 ・経営対策事業 ・武並駅乗車券類簡易委託発売業務 ・自主運行バス受託運行事業
2	地域交通網対策事業	7,169	①	地域公共交通を持続可能なものとするため、バスやタクシーが対応できない地域(交通空白地域)の移動手段の確保に努めた。 ・飯地有償運送事業(いじり山バス) ・串原有償運送準備事業 ・串原有償運送車両購入事業

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
3	遠距離通学等対策事業	106,864	①	遠距離通学児童・生徒の安全な登下校のため、スクールバスの運行と定期券回数券の交付に加え、公共交通機関やスクールバスの利用ができず自家用車で送迎している保護者に対し、通学補助金を交付した。 ・スクールバス運転業務 ・スクールバス購入費(山岡、恵那北、上矢作) ・通学補助(15人)

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	13 便利な消費生活を送る		
目指す方向	生活必需品の購入が困難になりつつある地域においても買い物ができるようにするなど、誰もが便利な消費生活を送れるようにします。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①日用品の買い物に不便を感じた市民(単位:%)	目標		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
	結果	13.5	9.0	11.3				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・買い物弱者を対象にした支援を進めます
・周辺地域での「小さな拠点」づくりを模索します

基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	買い物支援事業	1,837	①	高齢者等の買い物弱者の支援をするため、市内業者と協力し移動販売車を運行し、買い物環境の維持充実に努めた。 ・串原、上矢作地域

施策・事業 実績シート

理念	快適	基本目標	便利に暮らす
基本施策	14 暮らしやすさを保つ		
目指す方向	市民生活を支える生活道路や上下水道、ごみ処理、通信基盤などの暮らしの基盤を保ちます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①上下水道サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	目標		84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0
	結果	83.3	80.8	79.4				
②生活道路に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	結果	78.5	71.9	71.2				
③通信環境に不満を感じていない市民(単位:%)	目標		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	結果	79.8	82.6	82.5				
④ごみ収集サービスに不満を感じていない市民(単位:%)	目標		91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0
	結果	90.9	92.6	88.9				
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・暮らしを支えるライフラインを維持します
・災害に強い情報通信基盤の整備を推進します
・ごみ問題や環境に対する対策を推進します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	環境対策事業	22,346	—	河川、工場排水の水質、大気汚染物質、悪臭・騒音・土壌検査等の環境調査の継続により、公害の予防ができた。また、汚濁の負荷量が極めて高い阿木川周辺の工場に対しては、阿木川環境対策協議会や工場24時間排水検査を通して公害防止の強化を図った。「えな環境フェア2017」を市民との協働事業として開催した。環境対策協議会では住民・企業・行政の3者が一体となり、環境美化作業、啓発活動に取り組んだ。
2	浄化槽設置促進事業	51,713	①	下水道・農業集落排水事業区域外で、合併処理浄化槽を設置する世帯に対し補助を行った。 ・5人槽(25基) ・7人槽(35基) ・10人槽(4基) ・11～20人槽(1基) ・21～30人槽(2基) ・31～50人槽(1基)
3	道路橋りょう維持管理事業	323,516	②	道路・橋りょうの安全を確保するため、道路施設の維持修繕に努めた。 ・雀子ヶ根橋修繕、長島町12号線路側修繕等 ・市道緊急修繕、支障木伐採、橋梁点検、道路照明修繕等 ・車載式小型凍結防止剤散布機4台購入

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
4	道路維持管理支援事業	53,561	②	市民との協働による道路等の維持修繕を推進し、財政負担の軽減を図った。
5	生活市道整備事業	81,578	②	生活道路の整備により、生活基盤の向上、生活基盤と地域振興に寄与した。 ・中田線、飯地町58号線、明智町225号線、天神前山本線他
6	河川管理事業	1,463	—	関係団体に施設の管理を委託し、河川の良好な管理と安全確保に努めた。
7	河川整備事業	6,723	①	排水路及び河川整備を実施したことにより適正に管理できるようになった。
8	下水道事業(一般会計負担分)	617,400	①	公共下水道事業特別会計繰出金
9	駐車場管理運営事業	12,551	—	恵那駅西駐車場、武並駅前自転車駐車場、岩村駅前自転車駐車場、山岡駅前自転車駐車場、花白駅前自転車駐車場について、指定管理者による適正な管理業務を実施し、利用者の利便性が向上した。
10	恵那駅西駐車場大規模改修事業	—	—	恵那駅西駐車場の老朽化に伴う大規模改修に向け、改修箇所調査を委託し、改修箇所の洗い出しを行った。 ※予算はNO.9の駐車場管理運営事業に含む
11	公共奥戸処理区建設事業 【公共下水道事業特別会計】	147,114	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 ・正家第2区画整理污水管渠布設 ・正家第2区画整理雨水管渠布設 ・河鹿橋中継ポンプ場耐震詳細設計 ・正家第2区画整理污水、雨水管渠詳細設計 ・下水道総合地震対策計画策定 ・恵那市浄化センターストックマネジメント策定 ・恵那市浄化センター耐震診断
12	特環竹折処理区建設事業 【公共下水道事業特別会計】	3,592	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 ・竹折処理区ストックマネジメント策定
13	特環岩村処理区建設事業 【公共下水道事業特別会計】	168,895	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 ・岩村処理区ストックマネジメント策定 ・岩邑小学校マンホールトイレ設置 ・岩村浄化センター管理機械棟耐震補強
14	特環明智処理区建設事業 【公共下水道事業特別会計】	7,713	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 ・明智処理区ストックマネジメント策定
15	特環上矢作処理区建設事業 【公共下水道事業特別会計】	14,914	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 ・道路改良支障移転修正設計 ・上矢作小学校マンホールトイレ設置
16	特環恵那峡処理区建設事業 【公共下水道事業特別会計】	3,253	①	終末処理場及び汚水排水施設の整備を図り、衛生的で快適な居住環境づくり及び公共用水域の水質保全に努めた。 ・恵那峡処理区ストックマネジメント策定
17	水道施設更新事業 【水道事業会計】	355,978	①	大井町堅町、長島町久須見などの配水管更新(L=1,375m)、笠周地区及び明智地区の中央監視装置を更新、合わせて水道施設用光ケーブル敷設工事を行った。
18	老朽管更新事業 【水道事業会計】	79,695	①	大井町東末広町、長島町永田、長島町中野乗越の老朽管更新工事を実施(L=632m)するとともに、後年度に実施予定箇所の測量、詳細設計等を行った。

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
基本施策	15 学ぶ力をつける		
目指す方向	学校教育や読書などをきっかけにして学ぶ習慣を付け、生涯を通して学び続ける人を育成します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①物事に積極的に挑戦する児童(小学6年生)(単位:%)	目標		71.0	72.0	73.0	74.0	75.0	80.0
	結果	71.7	72.9	74.6				
②物事に積極的に挑戦する生徒(中学3年生)(単位:%)	目標		64.0	65.0	66.0	67.0	68.0	73.0
	結果	62.5	75.0	71.4				
③自主的な学習をしている市民(単位:%)	目標		62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	75.0
	結果	61.2	59.2	58.9				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・学ぶことができる場の提供を進め、学ぶ習慣の習得を目指します
・生涯を通して学べる体制づくりを進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	学校教育研究事業	11,760	①②	教員への適切な指導、援助を充実させ、教育における今日的な課題に対応し、教育の資質向上と教育内容の充実のためテーマに基づく研究に取り組み、学校教育の向上を図った。
2	特色ある教育推進事業	42,791	①②	特色ある教育推進のため、外国語指導助手の導入。6人の外国人講師を各小中学校に配置して巡回し、英語教育及び外国語活動の充実を図った。また、学校の教育書活動を充実・活性化させるための支援、スケート教室の開催、PTA連合会補助、家庭教育学級運営補助等を行った。
3	教育発達相談支援事業	31,768	①②	専門相談員を配置して、発達障がいに係る相談業務及び発達検査を行うことにより、家庭や学校、こども園などにおける支援のあり方についての助言や指導を行った。また、保健センターやこども発達センターとの連携により発達障がいの早期発見から早期療育につなぐ取り組み等を行った。また、不登校児童生徒に対する適応指導教育相談の充実も行った。心の教室相談員を不登校及び問題行動のある児童の多く在籍する小・中学校に配置することにより児童及び保護者の相談等に応じ子どもの自立援助を行った。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
4	小学校教育振興事業	128,454	①	学習支援員の配置、児童就学援助、理科教育施設整備事業、特色ある学校づくり補助金交付や、学校情報化推進による校務効率の向上及び近年高度化し必要とされる情報リテラシーの習得推進を行った。今年度は全ての学校へタブレット端末及び無線LANの整備を行った。
5	各小学校教育振興事業(14校)	14,973	①	学校教育振興に要する経費
6	中学校教育振興事業	57,093	②	科教育施設整備事業、部活動補助、特色ある学校づくり補助金交付や、学校情報化推進による校務効率の向上及び近年高度化し必要とされる情報リテラシーの習得推進を行った。
7	各中学校教育振興事業(8校)	10,282	②	学校教育振興に要する経費
8	中学校の再編検討	0	—	恵那南地区中学校の再編について、これまで議論されてきた内容、学校運営における統合の必要性、住民への説明方法など内部協議。
9	高等教育振興事業	5,593	—	市内高等学校の魅力高めるため、高校と企業が連携し魅力ある高校づくりを支援することに加え、恵那南高校に明知鉄道で通学する生徒に通学定期の半額補助を行った。
10	歴史等専門家人材バンク事業	86	③	古文書講座の開催及び広報掲載のものしりおじさんの記事を編集した冊子を小学校、コミュニティセンターに配布し、郷土の歴史、文化について学ぶ機会を設けた。
11	中央公民館講座運営事業	56,816	①②③	市民三学運動の施策の柱の一つである「学んで生かす」に重点を置いた取り組みとして、学習機会の提供と生涯学習団体の育成を推進した。また、各コミュニティセンターの塾長、主事と連携し地域のまちづくりと生涯学習を一体的に推進した。 ・市民講座(中央公民館・市民会館)82講座 受講者延べ1,257人 ・こどもフェスタ参加者 延べ2,058人
12	各コミュニティセンター講座運営事業(11ヶ所)	7,288	①②③	生涯学習の拠点として、市民講座、乳幼児学級を開催し、地域の生涯学習の推進を図った。 ・市民講座 241講座、参加人数延べ9,076人 ・乳幼児学級 150回開催 参加人数延べ2,297人
13	図書購入事業	11,489	③	郷土資料等、特色のある図書購入を行い、中央図書館利用者の要望に応じ、幅広い分野の図書資料購入に努めることができた。
14	読書習慣づくり事業	367	①②③	ブックスタート事業として7ヶ月児教室にて図書館ボランティアの協力の下、絵本の紹介、楽しみ方、読み方の指導を行うと共に、紹介した絵本などをプレゼントした。切れ目の無い子ども読書推進を図るため、3歳児に幼児用読書手帳を配布し、こどもの読書習慣づくりを進めた。 ・ブックスタート実施回数及び参加者数 恵那市保健センター(12回、218人) 岩村保健センター(6回、54人) ・幼児用読書手帳絵本引替え人数(63人)
15	読書環境推進事業	4,323	①②③	こども園全園を訪問し、絵本の読み聞かせなど、幼児期の読書活動の推進を図った。図書館サポーター、学校、コミュニティセンター図書室と連携して、読書に親しむ機会づくりを行った。地域の読書活動を推進するため、読書活動支援団体と協力し、地域の読書環境整備及びイベント等による読書機会づくりを行った。コミュニティセンター、小中学校への図書配送を行い、学校の授業や朝読書等の活動支援を行った。

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
基本施策	16 共に生きる力をつける		
目指す方向	家庭・学校・地域など社会全体で、思いやりやマナー、地域への誇りや愛着、社会参画意識の醸成など、社会性や協調性を有した豊かな心を持った人材を育てます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①地域の行事に参加している児童(小学6年生)(単位:%)	目標		89.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	結果	89.1	88.6	83.6				
②地域の行事に参加している生徒(中学3年生)(単位:%)	目標		61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	70.0
	結果	61.4	64.4	68.0				
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	43.0	55.0
	結果	27.6	34.5	32.9				
④まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	結果	54.4	56.7	56.4				
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・家庭、学校、地域など、社会全体で共に生きる力を育みます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
2	人権尊重教育事業	45	—	人権教育講演会を開催し家庭、教育、学校における子どもとの関わり方や心の問題について理解を深めた。また人権問題に関する正しい理解と人権尊重の理念を深めるための研修会を一般市民及び関係機関に対して行った。
4	家庭教育推進事業	88	—	初めて出産を迎える夫婦を対象として、パパママ学級を6回開催し、計147人の参加があった。また、初めての子が1歳を迎える親を対象として、ひよこパパママ学級を4回開催し、計89人の参加があった。
1	三学のまち推進事業	8,465	①②③④	第2次恵那市三学のまち推進計画に基づき、生涯学習とまちづくりを一体的に推進し、市内13地域に組織した市民三学地域委員会による「市民三学地域塾」を実施した。(32事業 参加者延べ6,372人) また、市民三学運動の一環として、「大学連携講座」「先人顕彰事業(佐藤一斎・下田歌子・三好学)」を実施した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
3	青少年育成事業	9,187	①②③④	<p>青少年育成推進員を委嘱し青少年育成市民会議の企画運営及び各部会での活動を行い、青少年育成の推進に努めた。青少年の健全育成を目指し、各種事業の実施、青少年育成啓発、青少年団体への補助金の交付等により一層の振興を図り、市民意識の向上に努めた。成人式実行委員18人を中心に式典の運営やアトラクションの企画運営を行った。放課後の小学校等を活用して、気軽にできる遊びや文化活動など、様々な体験と地域住民との交流を通じて、子どもたちの健全育成を進める活動を行った。</p>

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	いきいきと暮らす
基本施策	17 生きがいをもって暮らす		
目指す方向	芸術・文化やスポーツ、社会活動、趣味などのさまざまな交流を通じ、楽しみながら充実した人生を送る機会に触れ、生活の質を高めます。		

目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37	
①各種活動(文化・スポーツ・まちづくりなど)に参加した市民(単位:%)	目標		66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	75.0
	結果	65.7	64.9	63.7				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・さまざまな文化・スポーツなどに触れることができる機会の充実を図ります
・さまざまな文化・スポーツなどの活動の質を高め、活動を活発にします

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	文化芸術振興事業	32,097	①	市文化祭、恵那文化会館・かえでホール自主文化事業を文化振興会に委託して実施し、芸術文化の振興を図った。
2	生涯スポーツ推進事業	6,569	①	平成28年度に中部大学と連携し「こども園運動プログラム」を作成した。平成29年度はこのプログラムの運用指導を積極的に実施し、各園での運動遊びが充実するよう取り組みを始めた。また、子どもと保護者が家庭でも手軽にできる運動遊びを学ぶ親子で運動遊びの集い休日に2日開催し、延べ160人が参加した。体育連盟にスポーツ教室を委託し、弓道教室、卓球教室、水泳教室、スキー教室等を開催し、延べ3,288人の参加があった。生涯スポーツ推進補助金は、スポーツ少年団11団、少年スポーツ活動団体16種目団体の活動に対し支援した。

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
3	地域スポーツ推進事業	13,341	①	スポーツ推進委員22人の知識及び技術向上を図るため、各種研修会へ積極的に参加し、恵那市での活動に生かしている。また、子どもからお年寄りまでの幅広い地域住民が運動、スポーツに親しむことができるよう地域での活動支援や連携事業への協力、市主催の各種大会の運営を支援した。市民体育大会等の運営を恵那市体育連盟に委託し、年間21種目にわたって各大会を開催して年間の総合得点で順位を決定している。各地区体育協会等へ補助金を支給し、各競技種目の競技力向上、各協会の運営を支援した。
4	競技力向上推進事業	6,334	①	東濃総合体育大会へ選手を401人派遣した。スピードスケート、ソフトボールは優勝し総合4位。岐阜県民スポーツ大会へ選手を240人派遣した。スピードスケート優勝、スキーは5位入賞、30市郡中総合16位という結果であった。クリスタルパーク恵那スケート場を会場として開催される各スピードスケート大会に対し、開催地として支援を行った。
5	スポーツ施設改修事業	7,344	①	平成29年度にまきがね公園スポーツ施設の健全度判定を実施し、平成30年度に改修する体育館、平成31年度に改修予定の野球場、テニスコートに関する改修ヶ所の優先順位を決定するための資料を作成した。これを基本に各施設の改修工事実施設計を行い、2ヶ年で3施設の改修を行う。

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
基本施策	18 まちの担い手になる		
目指す方向	移住・定住を推進し、地域の人口の維持を図るとともに、地域活動の参加者や活動団体を育成し、地域を担う力を高めます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①社会動態(転入と転出の差)(単位:人)	目標		-183	-137	-92	-46	0	94
	結果	-285	-197	-248				
②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	43.0	55.0
	結果	27.6	34.5	32.9				
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	結果	54.4	56.7	56.4				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・地域の人口を維持するために移住・定住を促進します
・多くの方がまちづくりに参加できる雰囲気・場所をつくります
・地域の担い手やまちづくり団体を育成します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	移住・定住推進事業	128,352	①	<p>人口減少対策に資するため、市外からの移住者の増加や市内に住み続けてもらうための支援を行った。</p> <p>・相談窓口環境の充実 平成29年8月に恵那くらしビジネスサポートセンターを開設し相談窓口の充実を図った。地域おこし協力隊やまちづくり推進員を配置し、地域との連携を図りながら、空き家バンクの運営、移住セミナーの開催、空き家改修支援など移住定住の推進を行った。 移住定住相談者数153組 内市外106組</p> <p>・移住定住推進補助事業の実施 若者世代を中心に、移住定住推進補助事業を実施し移住定住の支援を行った。 制度を利用し市外から移住した数118組355人</p> <p>・結婚支援 結婚を支援するため、恵那ことぶき結婚相談所の運営等、出会いの場の提供、相談事業の支援等を行った。 カップリングパーティー3回 成立19組 毎月個別相談会(相談員:各地域1人)相談件数14人/年 婚活イベント支援1団体(中野方商工青年会)</p>

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
2	まちづくり市民活動推進事業	17,908	②③	市民活動団体の育成と活動の活発化を目的に、まちづくり市民活動事業として団体へ助成を行った。また、恵那市市民協会へ支援を行うとともにNPO法人の書類審査及び設立等の相談業務を行った。
3	地域の拠点形成事業	4,940	②③	地域のまちづくり活動を推進する振興施設の整備に努めた。
4	コミュニティセンター改修事業	90,782	②③	コミュニティセンター(コミセン)をまちづくりと生涯学習の拠点施設とし、地域振興と生涯学習活動を推進するため、コミュニティセンターと振興事務所の整備に努めた。 ・東野コミセン改修設計 ・上矢作コミセン屋根防水工事 ・岩村コミセン改修工事 ・笠置コミセン増築、敷地拡張工事
5	男女共同参画推進事業	440	—	第2次男女共同参画プランを推進するため、広報紙への記事掲載や企業研修会を実施し、男女共同参画への意識改革に努めた。 ・広報えな男女共同参画コーナー掲載 12回 ・企業訪問による啓発 15社 ・企業研修会(岐阜県と共催) 1回

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
基本施策	19 地域自治力を高める		
目指す方向	地域の課題を自ら考え解決に取り組む力(地域自治力※)を高め、コミュニティの再生を図ります。		

目標指標の推移

指標名	当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37	
①地域計画の進捗(単位:%)	目標	各地域で地域計画の進行管理を行い、平成37年度に100%を目指す。						
	結果	-	-	81.8				
②まちづくり活動やボランティア活動に参加した若者(40歳未満)(単位:%)	目標		31.0	34.0	37.0	40.0	43.0	55.0
	結果	27.6	34.5	32.9				
③まちづくり活動やボランティア活動に参加した市民(単位:%)	目標		55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	結果	54.4	56.7	56.4				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・地域の自治力を高めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	笠周地域活性化振興事業	26,490	①②③	笠周地域の活性化を促進するため、平成25年度に策定した笠周地域振興計画の進行管理に努めた。 ・飯地高原自然テント村整備への助成 ・飯地町まちづくり活性化事業への助成
2	地域自治推進事業	134,112	①②③	地域自治区制度を充実させ、地域課題を自ら考え解決に向けて取り組む力を高めるための活動に努めた。また、ふるさとえな応援寄附金を活用した事業支援を行った。 ・地域自治区会長会議運営助成 ・地域自治区活動助成(13地域) ・地域のまちづくり活動助成(地域単独事業65件、地域間連携事業7件) ・地域防災力向上事業助成(3地域) ・地域活動コミュニティ助成(2地区) ・地域集会施設整備助成(2地区) ・笠周地域特産品販売促進事業助成(1件) ・まちづくり基金活用事業助成(1件) ・ふるさとえな応援寄附金活用事業助成(5件)

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
3	過疎地域活性化振興事業	34,914	①②③	過疎地域の活性化を図るため、平成28年度に策定した恵那市過疎地域自立促進計画の推進に努めた。

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	みんなでまちをつくる
基本施策	20 さまざまな担い手がつながる		
目指す方向	さまざまな担い手(地域自治体、人、学校、民間企業など)がそれぞれの特長を活かしながら、効果的に協力・連携し、相乗効果を発揮します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
連携の事例	目標		*	*	*	*	*	*
	結果		—	—	—	—	—	—
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

※連携の実績紹介により、活動の質と量を示す指標とします。

課題解決のための施策

・さまざまな担い手による特長や課題の共有と、効果的な協力・連携を支援します

基本事業の実績

	事業名(実績紹介)	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	花咲か里山プロジェクト事業【産・官・学連携事業】	—	—	恵那農業高校、地元企業(田口建設株式会社)、恵那市の連携協定による、長島町久須見地区内での耕作放棄地を活用した事業を実施した。連携協定により、「地域農業の活性化」、「学校教育の充実」、「地域産業を担う人材の育成」を図るとともに、採蜜、農作物を活用した新たな商品開発を行うこととした。取り組みとしては、耕作放棄地にエゴマ・レンゲ・ブルーベリー等を植栽することにより、養蜂の蜜源を確保し、採取したエゴマと蜂蜜からエゴマパン、ハチミツ、エゴマみそ、エゴマ油といった商品開発を行った。【中山間地農業ルネッサンス推進事業費補助金活用】

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	まちを元気にする
基本施策	21 産業を育成・支援する		
目指す方向	新分野産業の育成、既存企業の育成、農林業の経営基盤の強化など、産業の高度化・転換を推進し、安定した雇用と地域の活力を高めます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①民有林(市有林含む)間伐面積(単位:ha)	目標		700	750	800	850	900	1,000
	結果	675	659	535				
②経営耕地面積(単位:ha)	目標		2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	結果	2,253	2,255	2,234				
③農業の担い手の組織数(単位:経営体数)	目標		110	112	114	116	118	128
	結果	113	162	149				
④製造品出荷額等(単位:億円)	目標		1,600	1,630	1,630	1,660	1,720	1,750
	結果	1,566	1,534	1,498				
⑤商業の活力が、普通以上だと感じている市民(単位:%)	目標		45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	50.0
	結果	45.0	42.7	40.1				

課題解決のための施策

・農林業の衰退を防ぎます
・商業の活性によるにぎわいの創出を図ります
・各種産業を支える経営基盤の強化を図るとともに、求職希望者や新規企業の増加による、新たな活力の創出を図ります
・リニア中央新幹線開業を見据えた産業の活性化を図ります

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	農業振興地域整備促進事業	3,234	②③	農業振興地域整備計画に基づく優良農地の保全・確保に努めた。個別の申し出等による変更で、15件43,160㎡の除外を行った。また5年に一度の農振整備計画の特別管理による除外等を検討するため、基礎調査を行った。
2	農地保全促進事業	316,820	②③	<p>【中山間地域等直接支払推進交付金】 急傾斜地などの耕作不利地である中山間地域において、集落協定を締結した集落に直接交付金を支払うことで、多面的機能の確保及び集落機能の強化に努めた。 協定締結数 81集落(うち3個別) 協定締結面積 1,518ha</p> <p>【多面的機能支払交付金】 農地や農業用水など、資源の適切な保全管理を地域ぐるみで行い、環境向上に取り組む組織の支援を行った。 協定締結数 50組織 協定締結面積 1,293ha</p>

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
3	鳥獣害対策事業	15,423	②③	有害鳥獣による生活環境や農作物への被害防止を図るため、捕獲活動や被害防止に対する助成を行った。 ・有害鳥獣捕獲奨励助成(832頭) ・射撃場整備(ユニットハウス設置、バックストップ嵩上げ)
4	担い手育成事業	60,695	②③	急速な高齢化とともに担い手が減少する中、基幹産業である農業を持続可能なものとするべく新規就農者、認定農業者及び農業生産組織への支援により担い手の育成を図った。(新規就農者に対する支援 10人(うち平成29年度2人増加))また、中山間地域特有の狭小な耕地面積に加え、担い手の減少に伴い耕作放棄地が増加していく中、生産効率の向上とともに耕作放棄地の利活用を推進するため、農地の集積、集約化を図った。(農地の集積を図った面積 30.57ha(前年度比358%増))
5	農産物振興事業	15,084	②③	農業作物の生産性の向上及び農業所得の向上に向けた取り組み等を推進するため、「もうかる農業プロジェクト検討委員会」を設置し、地域農業の活性化及び耕作放棄地の有効活用に関する事業を実施。(恵那農業高校、地元民間企業、市との三者協定による耕作放棄地対策事業『花咲か里山プロジェクト』、食と農の総合ポータルサイト『たべとる』の開設等) また、農業振興協議会を中心として、人・農地プランにもとづく各地域の特色ある農業生産活動の推進を図るとともに、農業再生会議を中心とした、米の生産調整の推進及び転作田における産地づくりを推進した。(経営所得安定対策交付金申請者 906件)
6	農業基盤整備事業	112,023	②③	美濃東部の償還業務等を委託し92人全員の償還金を徴収した。県単・市単かんがい排水の修繕整備を10ヶ所実施し、農業施設の機能改善を行った。県営事業負担金では立地条件を生かした農業と活力ある農村づくりが推進でき、ため池整備では老朽化した3ヶ所の改修を実施し地域の防災安全度が効率的、効果的に向上した。
7	農業基盤維持管理事業	25,916	②③	土地改良施設の機能維持のため、維持補修工事、管理委託を行った。えな土地改良区、土岐川防災ダム一部事務組合等施設の維持管理を行い土地改良施設の適正化を図った。
8	畜産振興事業	19,511	③	死亡牛BSE検査事業、乳用牛素牛導入促進対策事業等により畜産農家の負担軽減に努め畜産振興を図った。飛騨牛安定生産のため、県内の優良な種雄牛遺伝子を継承する県内産の優良な繁殖雌牛を導入及び保留を図った。
9	家畜診療事業	9,398	③	家畜の疾病治療及び予防を行い、畜産農家の経営安定を図った。
10	林業基盤維持管理事業	31,586	①	林道の恒常的な維持管理により、森林整備促進及び多目的な利用に寄与している。昨年度に引き続き恵南森林組合に恵南地区の林道維持管理を委託したことで、利用者の要望に即時対応できるようになった。また、原材料支給により地元での森林管理意識の高揚が図られた。
11	林業基盤整備事業	81,923	①	交付金及び補助金を利用して林道改良及び舗装を行い、森林整備を促進させた。 局部改良で大型機械及び大型車両が通行できるようになった。 ・測量設計、橋梁点検(深山沢線他7路線10橋) ・公共林道事業工事(暗井沢線・追沢線) ・県単林道事業工事(寺洞線・白坂線他2路線) ・集落環境保全整備事業工事 1ヶ所(明智町才坂地内)
12	商工業振興事業	64,408	④⑤	地域総合経済団体として、商工会議所及び商工会が実施した各種事業を支援し、商工業者の経営改善など商工業の活性化を推進した。 ・恵那くらしビジネスサポートセンター開設(経営・創業相談、各種専門家相談、就職支援、移住相談、空き家バンク、セミナーの開催など)
13	起業・恵那ブランド育成事業	109,552	④⑤	市内の商工業振興のため、起業支援、新商品開発、空き店舗対策、人材確保支援などへの補助を行った。中小企業向け低利融資として中小企業小口融資事業を実施するとともに、岐阜県信用保証協会保証料の補給をすることで、融資者への負担を軽減した。
14	企業団地開発事業	0	④⑤	恵那市土地開発公社を事業実施主体として、恵那西工業団地開発事業を実施した。 また、その他の企業団地の開発について検討を行った。

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	まちを元気にする
基本施策	22 交流と連携で元気になる		
目指す方向	観光まちづくりや都市農村交流などを通じ、地域が主体となって地域資源の魅力を磨き上げ、内外にその魅力を発信し、まちの活力を高めます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①観光入込客数(延べ) (単位:万人)	目標		405	410	415	420	425	450
	結果	384	384	376				
②都市農村交流人口(延べ) (単位:人)	目標		1,230	1,250	1,270	1,300	1,350	1,400
	結果	1,127	1,298	1,544				
③文化・スポーツ交流人口 (延べ)(単位:千人)	目標		203	205	208	210	213	225
	結果	202	254	265				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・恵那の魅力発掘とブランド化、観光基盤の整備を進めます
・滞在・周遊を意識した観光商品の開発を推進します
・恵那の魅力を戦略的に発信します
・リニア中央新幹線開業を見据えた観光振興を進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
1	リニアまちづくり事業	3,733	①	リニア中央新幹線建設の促進と沿線地区の基盤整備計画の検討を行った。また、講演会を開催し、リニアを生かしたまちづくりを啓発した。
2	国際交流推進事業	8,238	①②③	恵那市国際交流協会への事業支援を行い、国際交流の推進及び交流事業の充実に努めた。国際交流協会では、中学生海外派遣事業、多文化共生事業(ワールドカフェ、にほんご教室)を実施した。
3	都市農村交流事業	409	①②	ACT事業等の都市農村交流事業や全国棚田(千枚田)サミットへの参画など棚田景観等保全に向けた取り組みを行った。
4	観光PR事業	35,629	①②③	観光PRのための観光情報を掲載した総合観光ガイドブック等の印刷や、食と観光をセットにした首都圏観光プロモーションの実施、恵那市観光物産展開催に伴う観光PR活動事業補助など観光客の誘致促進を図った。

施策・事業 実績シート

理念	活力	基本目標	まちを元気にする
基本施策	23 持続可能型の社会をつくる		
目指す方向	6次産業化による付加価値向上や地域内消費の促進、再生可能エネルギーの利活用など、地域内で経済やエネルギーが循環する社会を形成し、地域の自立と活力を高めます。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①農産物等直販施設の販売額(単位:百万円)	目標		505	510	515	520	550	580
	結果	488	465	470				
②年間資源リサイクル率(単位:%)	目標		56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0
	結果	55.7	59.6	62.4				
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・多様な資源を効果的に活用します
・地域内経済の循環を図るための体制を整備します
・限られた資源の活用を促進します

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	ごみ減量化対策事業	13,460	②	拠点型の資源回収を含めた資源回収奨励金事業、環境美化助成金等の推進、生ごみ堆肥化学習会等の開催により、ごみの減量化を図った。平成29年度資源回収奨励金交付対象団体は38団体、1,196t/年であった。 ・ふれあいエコプラザ運営(指定管理) ・資源回収助成(38団体、1,196/年t 回収)
2	再生可能エネルギー推進事業	5,353	—	住宅用太陽光発電システム設置に係る補助を行い、地球温暖化防止、自然エネルギーの利用を促進した。 ・実績34件、197kw(40千円/kw、上限160千円)
3	地産地消推進事業	1,726	①	県内産農産物の学校給食導入支援及び市内農産物の学校給食納入補助事業を行い、地産地消と食農教育推進を行った。また米飯給食については恵那市産のおいしいお米を学校給食へ積極的に導入した。 ・県内農産物納入実績(岐阜県農業協同組合中央会)66,815kg ・市内農産物納入実績(8者)4,313kg
4	地域材利用促進事業	2,874	—	木の駅実行委員会による地域の林地残材の搬出へ補助を行い、間伐の推進を行った。 ・間伐促進地域活性化事業(補助金) 4地域 957.9t

施策・事業 実績シート

理念	市政の運営	基本目標	市政の運営
基本施策	24 市民サービスが向上する		
目指す方向	市民ニーズに応じた行政サービスを提供するとともに、健全な行財政運営により、公共サービスを継続的・効果的に提供します。		

目標指標の推移

指標名		当初	H28	H29	H30	H31	H32	H37
①行政の窓口や電話対応などに不満を感じていない市民(単位:%)	目標		91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	95.0
	結果	88.9	88.5	87.4				
②市債残高(単位:億円)	目標		334	328	322	315	306	239
	結果	342	308	295				
③経常収支比率(単位:%)	目標		87.2	88.3	89.3	90.1	91.1	90.3
	結果	85.4	85.0	86.0				
④実質公債費比率(単位:%)	目標		9.8	10.9	11.5	12.0	12.2	12.4
	結果	9.3	7.1	6.0				
	目標							
	結果							

課題解決のための施策

・市民の視点に立った行政サービスの向上(「質」の改革)を進めます
・簡素で効率的な行政運営の確立(「量」の改革)を進めます

基本事業の実績

	事業名	事業費(千円)	対応する目標指標	内容
1	総合計画推進事業	8,151	①	第2次総合計画の実現に向け、総合計画推進市民委員会(委員30人)と部会を開催し、計画進捗等に係る審議及び進行管理を行った。また、地域の維持に向けた人口減少対策を集中的に行い、効果的な施策を展開するため、次世代を担う市内18歳～45歳の若者18人参加による「はたらく」「たべる」「くらす」のテーマ別ワークショップ形式による「若者会議」を開催した。暮らしの現状や、まちづくりに向けた意見を伺うため「恵那市市民意識調査」(2,500人無作為抽出、1,431件回収、回収率57.2%)を行った。
2	行財政改革推進事業	633	②③④	第3次行財政改革大綱、行革行動計画等について、各部長から構成された恵那市行財政改革本部会議を中心とし、改革項目の達成に向けた全庁的な取り組みを行った。5カ年計画の行財政改革行動計画について、平成30年度に中間年を迎えることから、現状と実績を踏まえ恵那市行財政改革審議会の審議を経て、後期計画としての見直しを行った。恵那市行財政改革審議会(16人+オブザーバー1人)を開催し、行革行動計画に係る進捗状況等の報告・審議を行い、目標が達成できていない改革項目については次年度に向けた課題として目標が達成できるよう改善していく。 ・財政力指数(H29年度0.462、H28年度0.467) ・実質公債費比率(H29年度6.0、H28年度7.1) ・経常収支比率(H29年度86.0、H28年度85.0)

	事業名	事業費 (千円)	対応する 目標指標	内容
3	休日窓口開庁事業	—	①	平成30年1月から毎月、最終日曜日に市役所西庁舎1階にて一部の窓口開庁を開始した。 ・開庁時間(8:30~17:15) ・1月~3月実績(196人、279件)